



武雄の大楠・武雄温泉楼門 (表紙・上記写真)

今回の表紙は、1月8日に撮影した「武雄の大楠」。
樹齢3,000年以上で、市の天然記念物に指定されています。
雪化粧した大楠は、普段とは違う迫力があり、ついつい見入ってしまうほど圧巻でした。今日から2月。立春を迎え、暦上では春ですが、まだ冬の真っ盛り。引き続き感染症対策をしながら過ごしましょう。

TAKEO

広報武雄 No.180 2021年2月号



CONTENTS

▶特集①	未来へ羽ばたけ、 若いアスリートたち	…01
ニュース	武雄ハンドボールクラブ初優勝 医療用ゴム手袋を寄贈していただきました ほか	…04
	SDGsと男女共同参画	…05
▶特集②	「あなたの夢はなんですか？」 成人式実行委員会	…11
▶特集③	武雄市民大学10周年のあゆみ	…15
お知らせ	「武雄版」持続化給付金を給付します 武雄市地域の絆交付金事業について	…17
	おたんじょうおめでとう	…26

発行・編集／ 武雄市役所 企画部 広報課 ☎0954-23-9121
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
印刷／ 有限会社 四季の丘印刷



市長だより

昨年、駐日フィンランド大使のペッカ・オリメキ氏に会う機会がありました。
フィンランドは女性国会議員の割合が46%、首相は35歳の女性など、世界で最も男女平等が進んでいる国の一つ。
なぜなら、フィンランドは人口約500万人の小国で、常に各国の勢力争いの舞台となった国。また、国土の3分の1が北極圏という厳しい気候の中、生き残るには女性の力が必要だった。これが男女平等に影響しているのでは、とのことでした。
厳しい環境は、誰にとってもつらく苦しいもの。しかし、それを乗り越えつくり知恵を絞って行動すれば、私たちの暮らしや社会は必ず良い方向に進んでいく。そう教わった気がします。
コロナ禍も、今がまさに踏んばりどころ。一人一人が、自分にできることを考えて行動することで、必ず夜は明けると信じています。
武雄市長 小松 政